

※※2012年11月改訂(第3版)
※2008年9月改訂(第2版)

貯 法	直射日光を避けて室温保存
使用期限	容器に記載

日本標準商品分類番号
872612

承認番号 21800APZ10269000
承認年月 2006年 7月7日
販売開始 2007年1月



※ 第3類医薬品

外用消毒剤

10%ポビドンヨード液 含浸綿球

ポビ綿球

ご使用に際してはこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるように大切に保存してください。

※※【特徴】

10%ポビドンヨード液を滅菌綿球に含浸した消毒用綿球

【使用上の注意】

【してはいけないこと】

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

※※ 次の人は使用しないこと

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

※※ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (3) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (4) 患部が広範囲の人。
- (5) 深い傷やひどいやけどの人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる

(2) 5～6日間使用しても症状がよくなる場合

【その他の注意】

- (1) 大量かつ長時間の接触によって接触皮膚炎、皮膚変色があらわれることがあるので、溶液の状態で長時間皮膚と接触させないこと。
- (2) 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

【効能・効果】

切傷、すり傷、さし傷、かき傷、靴ずれ、創傷面の殺菌・消毒

【用法・用量】

本剤を1日数回、そのまま患部に塗布して用いる。
(用法・用量に関連する注意)

- (1) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (2) 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。
なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること。
- (3) 外用にのみ使用すること。

【成分】

本剤は、下記の成分を含有する。

規 格	10%ポビドンヨード液量 (綿球1球あたりの液量)	医療脱脂綿 (滅菌綿球)
No.14-3球	6.0mL(2.0mL)	3球
No.20-3球	15.8mL(5.3mL)	3球
No.30-3球	41.3mL(13.8mL)	3球
No.40-1球	34.4mL(34.4mL)	1球

溶液1mL中、日局ポビドンヨード100mg(有効ヨウ素として10mg)を含有する。
添加物として濃グリセリン、ラウロマクロゴール、クエン酸、無水リン酸一水素ナトリウム、pH調整剤を含有する。

【保管及び取り扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。
(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 希釈を行わず、そのまま使用すること。
- (5) 経口投与、目及び体腔内に使用しないこと。
- (6) 衣類に付いた場合は水で洗い落とす。
また、チオ硫酸ナトリウム溶液で脱色できる。
- (7) 綿球等を継ぎ足して使用しないこと。
- (8) 開封後は速やかに使用すること。

【包装】

No.14-3球 30個入
No.20-3球 30個入
No.30-3球 30個入
No.40-1球 30個入

【消費者相談窓口】

白十字株式会社
〒171-8552 東京都豊島区高田3-23-12
お客様相談室 TEL 0120-01-8910(フリーダイヤル)
受付時間/9:00~17:00(月~金※祝日を除く)
(休日・夜間 TEL.03-3987-6111)

※※【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

製造販売業者 白十字株式会社
〒171-8552 東京都豊島区高田3-23-12

副作用被害救済制度の問合せ先 (独)医薬品医療機器総合機構	電話 ☎ 0120-149-931
----------------------------------	----------------------